

国営農地再編整備事業

びばい ちゃし ない 美唄茶志内地区



～大型汎用田の整備を通じた食料自給率向上の推進～

現 状

本地区は、北海道の石狩平野のほぼ中央に位置し、石狩川の左岸に拓けた水田地帯であり、水稻及び転作作物の小麦・大豆を主体にたまねぎやアスパラガス等の高収益作物を導入するなど稲作複合経営が進められている農業専業地帯である。

しかし、地区内では高齢化による農家数の減少に伴い個別経営の規模拡大が進む一方で、農地の分散化が進んでいる。このため、狭小なほ場の区画で、かつ、泥炭土壌に起因する泥濘（ぬかるみ）から機械化作業の効率を妨げている。さらに、ほ場排水が不良のため、小麦・大豆などの収量や品質も不安定な状況にある。



小区画なほ場



未整備な排水路

事業目的

本事業は、既耕地を再編整備する区画整理と地目変換による農地造成を一体的に施行し、生産性の高い基盤の形成と土地利用の整序化を通じ、農業の振興を基幹とした本地域の活性化に資することを目的とする。

本地区では、農家の高齢化による農家数の減少に対応すべく、担い手への農地利用集積や作業受委託面積拡大を推進し、農作業の効率化を図るとともに、関係機関が一体となった先進的営農技術の普及や地域全体での田畑輪換耕作が可能となる基盤の確立を目指す。

整備イメージ 〔茶志内エリア〕

整備前



現況ほ場平均面積
0.3ha～0.5ha

整備後



整備後ほ場面積
1.2ha

事業概要

実施期間 : 平成24年度～

関係市町村 : 美唄市

受益面積 : 1,378ha

主要作物 : 水稻、小麦、大豆、たまねぎ、アスパラガス等



JAびばい: 利雪型カントリーエレベーター【雪蔵工房】
(雪を活用した環境に優しい低温保管で品質保持)

高生産性水田営農の実現による地域農業振興

国営農地再編整備事業によるほ場の大区画化にあわせて、農地利用集積円滑化事業団体（美唄市）を中心とする農地利用集積や麦作営農組合等による作業受託を促進し、農作業の効率化と営農労力の適正配分を図ることによって、大規模土地利用型営農と野菜類主体の集約的営農の一体的安定化による多様な担い手の育成を実現します。また、泥炭地水田の整備水準を斉一化すると同時に関係機関が一体となった先進的な営農技術の普及を進め、地域全体での田畑輪換耕作を可能とすることによって、幅広い需要に即応した多様なコメ生産と高品質転作作物の安定生産に向けた地域営農体系を再構築し、食料自給率の向上に資するとともに地場産農産物の利用を通じた地域農業の6次産業化等を図るものです。

